

JR木次線下久野駅視察 平成 23 年 5 月 1 日(日)

5 月 1 日(日) 駅の構内に畑があるという、JR 木次線の下久野駅に行きました。駅のイベントと重なり、いろいろな取り組みをしておられましたので紹介します。



駅の中の畑、「駅ナカ農園」です。ちょうど、地元の方が植えられた春の花々が盛りをむかえ、きれいに手入れされている畑に色を添えていました。



列車が到着するとホームで待っていたお弁当売りの方が車内へ入り、販売していました。手作りの竹の子弁当です。地元の味を乗客の方に知ってもらえる、良いアイデアだと思います。



「駅ナカ農園」で苗の植え付け体験をさせていただきました。駅に來たり通過したりする楽しみが増えますね。畑のお世話をしたり収穫することもOKということなので、お子さんがおられるご家庭にも喜ばれるように思います。夏に向けてナス、ピーマン、オクラ、ミニトマトの成長が楽しみなところです。



駅の待合室では、山菜の天ぷらをしていらっしゃいました。竹の子、こごみ、わさびの葉、タラの芽、せりなど地元で採れた春の味覚です。タケノコご飯や煮しめ、網で焼いた焼肉などみなさん和気あいあいとした雰囲気の中でいただきました。待合室での天ぷらにも驚きましたが、元事務所はくつろげるコーナー、奥には炊事場もありながら集会所や公民館のようでした。駅は人の通過点であり、人が集まって何かをする場所のイメージはなかったのですが、駅があるから人が集まってきて生き生きと交流するという、こういった活用の仕方もいいなあとと思いました。



イベントの最中にも花の手入れをしておられる姿がありました。下久野駅では土日に駅に降りた方に地元の方がお茶を出したり、世間話をしたりなど他にも普段から地道な活動を続けておられます。自分たちにできることを無理のない範囲でやっておられることが活性化につながる秘訣のように思いました。

下久野の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。
(三江線活性化協議会：飯塚幸恵)